

子どもたちの成長に本当に必要なものは？
いろんな育児を見つめたドキュメンタリー映画

いのちのはじまり

子育てが未来をつくる

すべての子どもに、素晴らしい人生のスタートを。
それが平和で創造的な社会を築く一番の近道。そのための子育ての方法はひとつじゃない。

© The Beginning of Life



「遊びとは自分らしくいること」

子どもが自分自身になる時間を与えて下さい。
遊びとは自分らしくいることなのです。
レナータ・メイレレス (遊びの研究者)



「ふれあいを大切に」

本当に大切なのはおもちゃではなくあなたです。
あなた自身が子どもにとって一番大切な存在なのです。
ジャック・ションコフ (ハーバード大学 小児科医)



「子育てが未来をつくる」

国の未来について真剣に考えるなら、
まず子どもたちの親を助けることです。
リア・アンプワヤ (子どもの権利活動家)



監督：エステラ・ヘネル
制作：マリア・ファリナ・フィルムズ
提供：マリア・セシリア・ソート・ピジガル財団、バーナード・バン・リー財団、アラナ協会、ユニセフ
配給・宣伝：アップリンク (2016年/ブラジル/原題：O Come ç o da Vida)
協力：日本ユニセフ協会



6月 9日 (土) ① 10:00 ② 14:00

米子コンベンションセンター 小ホール

6月 16日 (土) ① 10:00 ② 14:00

倉吉交流プラザ 視聴覚ホール

6月 23日 (土) ① 10:00 ② 13:30

とりぎん文化会館 第一会議室

入場
無料

- 開場は30分前
- 上映時間 96分

■ 午前の部 託児あり
各会場、午前の部は託児をします。ご希望の方は、開催日10日前までにお申し込みください。

主催：鳥取県ユニセフ協会

お問い合わせ：TEL/FAX 0858-71-0970

〒680-1202 鳥取市河原町布袋597-1 鳥取県生協内

Mail unicef-tottori@juno.ocn.ne.jp

後援：鳥取県 鳥取市 倉吉市 米子市 新日本海新聞社 NHK鳥取放送局 日本海テレビ BSS山陰放送
鳥取県東部医師会 鳥取県中部医師会 鳥取県西部医師会 鳥取県助産師会 鳥取県保険医協会

unicef 
for every child

世界の子育て最前線！ 子どもたちの成長に本当に必要なものは？

人格の土台が形成される乳幼児期（生後～就学前）の脳では、毎秒700個から1000個もの神経細胞が新たに活性化しています。この神経細胞同士の接続によって脳は発達し、後の健康や精神的な幸福、学習能力が決定づけられます。



この成長でもっとも大切なのは、大人との触れあい。血のつながった“親”に限らずとも、周囲の大人が乳幼児に安全で愛情に満ちた環境を与えることができれば、より良い社会を創造する未来が開かれます。

乳幼児期の子供たちにとって、育つ環境だけでなく、周囲の人々とのかかわりの質と量が、その後の人生を左右するほど重要であることを伝えていきます。

この映画は、ブラジル出身のエステラ・ヘネル監督が9カ国のさまざまな家庭を訪問し子育ての今を撮影しました。

- ▶ 育休を経て職場復帰時期に悩む母親
- ▶ 専業主夫となり二人の男の子を育てている元研究者
- ▶ 好条件の転職と娘の通学送迎が折り合わず悩んだ末に決断を下した父親
- ▶ 養子を取り育児中の驚きや喜びを語る夫婦
- ▶ 子育て中のレズビアンカップル
- ▶ 娘夫婦に代わって孫の面倒をみている中国の祖父母
- ▶ ドラッグ中毒により子育てもままならない時期を経て立ち直った経緯を語る母親
- ▶ 両親を亡くし幼い兄弟の面倒をたった一人でみる少女 など



さまざまな文化・民族・社会背景の子供たちの生き生きとした様子と、彼等を取り巻く大人のリアルな姿を映しだします。



さらに、児童心理学者、学習脳科学者、小児科医、精神分析医、経済学者、教師など様々な分野のスペシャリストたちのへのインタビューも多数収録。彼ら自身の経験と研究に基づいたメッセージが胸に迫ります。

ユニセフ パネル展 同時開催

- 西部 5/27(日)～6/8(金) 米子市福祉保健総合センター ふれあいの里
中部 6/10(日)～6/16(土) 鳥取県男女共同参画センター よりん彩 活動交流サロン
東部 6/20(水)～6/27(水) とりぎん文化会館 フリースペース

お問い合わせ

鳥取県ユニセフ協会 【開局日】月・火・金 10～16時、水 10～12時
〒680-1202 鳥取市河原町布袋597-1 鳥取県生協内
TEL/FAX : 0858-71-0970 Mail : unicef-tottori@juno.ocn.ne.jp